

生産物分類策定研究会の開催について

平成 29 年 5 月 26 日

総務省政策統括官（統計基準担当）

1 目的

「統計改革推進会議最終取りまとめ」（平成 29 年 5 月 19 日統計改革推進会議決定）において、サービス分野を含め経済・産業構造の現状を的確に把握するため、総務省は、用途の類似性による基準を指向した生産物分類を整備することとされていることを踏まえ、生産物分類の策定に当たって学識経験者等の幅広い知見を得ることを目的として、「生産物分類策定研究会」（以下「研究会」という。）を開催する。

2 検討事項

- (1) 生産物分類設定の基本的な考え方について
- (2) サービス分野の生産物分類について
- (3) サービス以外の分野の生産物分類について
- (4) その他

3 構成及び運営

- (1) 研究会は、政策統括官（統計基準担当）の研究会として開催する。
- (2) 研究会の構成員及びオブザーバーは、別紙のとおりとする。
- (3) 研究会に座長を置く。座長は、政策統括官（統計基準担当）があらかじめ指名するものとする。
- (4) 座長は、必要があると認めるときは、関係者等の出席を求め、意見を聴くことができる。
- (5) 座長が必要と認めるときは、構成員は、テレビ会議システムを利用して研究会に出席することができる。
- (6) 議事については、原則として公開とする。研究会で配布された資料は、研究会終了後公開する。ただし、座長が必要と認めるときは、非公開とすることができる。
- (7) 研究会終了後、速やかに議事概要を作成し、公開する。

4 庶務

研究会の庶務は、統計委員会担当室の協力を得て、総務省政策統括官（統計基準担当）付統計審査官が行う。

(別紙)

「生産物分類策定研究会」構成員等

(令和元年6月24日現在)

(敬称略)

(構成員)

いしろ たく 居城 琢 横浜国立大学国際社会科学研究院教授

すが みきお 菅 幹雄 法政大学経済学部教授

まきの よしひろ 牧野 好洋 静岡産業大学経営学部教授

みやがわ こうぞう 宮川 幸三 立正大学経済学部教授

(オブザーバー)

内閣府経済社会総合研究所研究官

内閣府経済社会総合研究所国民経済計算部国民生産課課長補佐

総務省統計局事業所情報管理課課長補佐

総務省統計局統計調査部経済統計課統計専門官

総務省統計局統計調査部経済統計課経済センサス室課長補佐

財務省大臣官房総合政策課経済政策分析官

厚生労働省政策統括官付参事官(企画調整担当)付審査解析室室長補佐

農林水産省大臣官房統計部統計企画管理官付管理官補佐(統計調整担当)

経済産業省大臣官房調査統計グループ統計企画室参事官補佐

経済産業省大臣官房調査統計グループ構造統計室参事官補佐(企画調整担当)

経済産業省大臣官房調査統計グループ構造統計室参事官補佐(経済構造実態調査担当)

経済産業省大臣官房調査統計グループ構造統計室参事官補佐(工業統計担当)

国土交通省総合政策局情報政策課課長補佐

国土交通省総合政策局情報政策課建設経済統計調査室建設統計情報分析官

日本銀行調査統計局経済統計課統計総務グループグループ長

(事務局)

総務省政策統括官(統計基準担当)付統計審査官(統計基準・産業連関表・調査技術担当)